



事業の「検証・分析・評価」と「設計図作り」

掬水まちづくり協議会

会長 葉山 和則

協議会たより(70号)のご案内の通り「H24年度掬水まちづくり協議会事業計画・重点的な取り組み」に基づき事業が滞りなく実施されている事に対し関係役員・部員・会員・団体のご尽力とご協力に対しお礼申し上げます

9・10月の行事予定	
グラウンドゴルフ大会 9月9日(日) 予備日9月23日(日) 8時30分より 場所 掬水小学校運動場	
掬水地区合同自主防災訓練 10月14日(日) 9時より 場所 掬水小学校運動場	
さつまいも収穫祭 10月に予定しています。 詳細は決まり次第後日お知らせします。 集合場所 清水町農協倉庫前	

平成24年8月20日  
掬水まちづくり協議会  
74号

さて今年度は重点的な取り組みとして事業終了の後に(1)「当該事業の検証・分析・評価」を行い継続・改善・廃止・新規も含めて次年度の事業計画に反映させ、より効果的・効率的な実行・運営を行い事業の充実・進展を計る。

(2)「みんなであら」をキーワードに「動員」から「自主参画」に意識・認識を転換し(絆)の充実・拡大と体質強化を計る。の2項目に絞り活動・行事の計画・実行に当たっております。

そこで今年度前半の主要事業が終了したこの時期に前述の(1)・(2)を念頭に実施済事業の目的に対する効果(達成度)・効率(時間・労力の費用対効果)をデータに基づき検証・分析・評価し後半の事業運営に反映させる事は勿論、次年度の事業計画の資料として各実行部門において活用して頂くこそが事業を進展・充実させる鍵であります。

本年度から松阪市全域(43地域)で住民協議会が発足し、それぞれに地域計画・事業計画・事業予算を作成し実施するというシステムが出来ました。掬水まちづくり協議会としては従来からの(絆作り)に加え

て本年度より(設計図づくり)と称してこの地域計画・事業計画・事業予算作成に取り組み事になりました。(取り組まなくてはならなくなりました。)その第一歩が過去の事業(6年間を含む)を「検証・分析・評価」する事です。この「過去の事業を検証・分析・評価する為の事業」には各部会・各実行部門の皆様に加え私が特にお願いしたいのは、会員の皆様の「参画」であります。何故ならば「元気で仲良く楽しいまち」を皆で創るにはその(設計図)も又皆で作る必要が有るからです。全会員の皆様からの「参画」を期待しております。参画の方法は問いません。「まちづくり将来計画作成委員会」「郷土歴史文化研究プロジェクト」等に参加頂くのもその一つの方法です。事務局はあらゆる手段と方策を考えてその環境整備を図ってまいります。地域計画・事業計画作りは日常の活動・事業の積み重ねから出た物でなければなりません。皆の地域は皆で考え皆で創る・・・この意識・認識が「たより」をお読み頂いた皆様に共有される事を切望して協議会運営に当たってゆく所存です。ご理解・ご支援の程宜しくお願い致します。

## 大盛況!! 夏まつり

天候にも恵まれ、7月28日に盛大に開催することができました。自治会長をはじめ、体育委員、公民館の各種団体、消防団、老人会、商工会、そして地域の自治会の皆様の献身的なご協力ありがとうございました。地域振興部の皆様、計画から最後の片づけまでお疲れ様でした。



やきそばを販売中の安楽町・山下町のみなさん

毎年すてきな盆踊りを披露して下さる有志の方々



フランクフルトを販売中の清水町・菅生町のみなさん



夏まつりの「ゴミ」  
「それ、燃えるゴミですか？」  
へのお答え

環境美化部

部長 控井昇

夏まつりではゴミの分別回収にご協力いただき、ありがとうございます。

去年までの反省と、松阪市清掃政策課の助言を受けて、今年のごみ回収方法全般の見直しを行い、トライしました。

夜店で販売された容器類を燃えるゴミに入れるとき、多くの方が「燃えるゴミに入れていいんですか」と戸惑われましたので、簡単にお答えします。

イベント(夏まつり)では短時間集中して大量のゴミが出ます。出されたゴミを即時に分別して、イベント時間内に全てのゴミと回収ステーションをかたづけることは、家庭と同じやり方では間に合いません。

洗えば資源の容器類ですが、あえて燃えるゴミに分別しません。

翌日の日曜日にボランティアで容器を洗っていただく方の負担、洗うための水の消費、洗剤の汚水処理の負担も環境負荷に

なることも、合わせて考えての方策です。

いろいろ意見もあろうかと思いますが、上記の事情を考慮いただき、イベントと家庭ではゴミの処理が違う、ということにご理解いただき、家庭では松阪市のゴミ処理ルールに準じて、分別回収をお願いします。

また、夏まつりのゴミ処理の詳細は、後日回覧等にて広報いたします。

みんなの伝言板

古い写真を  
見せてください。

昔の生活やまちの様子が写っている写真を探しています。見せていただける方は連絡ください。

郷土文化歴史研究プロジェクト

TEL 28・2675

掃水小学校からの  
お願い

校長 富内修身

地域の皆さまには、平素から本校の学校教育推進に関わり、ご理解ご支援をいただき誠にありがとうございます。おかげをもちまして子どもたちは毎日元気に、学習や運動に励むことができています。

放課後の運動場の使用について、お願いさせていただきます。学校施設開放の意味から利用していただいています。小さい子どもたちや、ていすいハウスの子どもたちが利用している時は、運動場でボールを打つとかボールを蹴るといようなことをご遠慮下さい。

そして、左記の間までは、運動場の使用を園児・児童優先とさせていただきます。

- 4月～8月…午後6時
- 9月 …午後5時30分
- 10月～3月…午後5時
- (11月～1月…午後4時30分)

よろしくお願いいたします。

「四国八十八ヶ所霊場  
歩き遍路」物語(十九)

豊原町 岩塚章

坂本竜馬の桂浜が

鼓の音が聞こえてきた。長浜の神社のお祭りのすばらしい紅白の衣をまとったお祭屋台を引く美しい娘さん。いや中年の美女。子供さんの行列に出会えた。「どろんこ祭」とか。

「遍路さん遍路さんこちらにいらっしやい」

五、六人の美女に囲まれた。やさしいお手から顔にドロが、いやはや顔中ドロだらけになってしまった。その熟女さん達と記念写真。泥も落とさず雪溪寺にお参りした。

寺前の民宿高知屋に泊り、女将さん曰く

「お遍路さんあのどろんこ祭りに出会えて幸せでしたよ。あと二十年は生きられますよ」

「そしたら九十ですか。百歳まで生きたいと思っっていますのに」後がつかえて来るからほどほどに「笑いの夕食になつた。」

四国の遍路旅、辛いこともあるけれどこんなすばらしい出会いがあるからやめられなくあしたの旅が出来るのか。そうそう今夜は女の遍路さんと二人だけ。女将さん曰く

「お二人だけだったから一緒に洗濯しました」

いやはや下着まで出してしまったのに、これもお接待でした。

つづく

※掲載は無料です。  
※申し込み用紙はまちづくり協議会事務局(柳田地区市民センター内)にあります。  
ぜひ、お気軽に「みんなの伝言板」をご利用ください。